大学･高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F145310111556	設置等組織名	学校法人南九州学園　南九州大学　環境園芸学部地域創成学科（仮称）
大学名	南九州大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	宮崎	事業計画名	南九州大学　農学関連学科新設計画

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	・1-①令和5年10月～翌年3月・・新学科設置構想検討のためのコンサルタント契約 ・1-②　令和5年10月・・・・・・・・・・・学科構想WGの設置 ・1-③　令和5年12月・・・・・・・・・・・新学科設置構想検討のための需要調査（高校1年生対象） ・1-④　令和6年2月・・・・・・・・・・・・令和５年度機能強化会議に出席	・　1-①令和5年10月～翌年3月・・・・新学科設置構想検討のためのコンサルタント契約 ・　1-②令和5年10月・・・・・・・・・・・・・学科構想WGの設置 ・　1-③令和6年2月・・・・・・・・・・・・・・・令和５年度機能強化会議に出席（教員1名・職員1名） ・　1-④令和6年3月・・・・・・・・・・・・・・セミナー参加（「農学・グリーン分野の新・教学経営」職員1名） 「事業計画1-③」に記載した需要調査は、内容再検討のため次年度に変更	令和5年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	・1-⑤　令和6年6月～12月・・・・・・新学科設置記念公開講座の開催 ・1-⑥　令和6年12月・・・・・・・・・・新学科設置構想検討のための需要調査（高校1年生対象） ・1-⑦　令和6年12月・・・・・・・・・・新学科設置構想検討のための需要調査（高校進路指導担当教員対象） ・1-⑧　令和6年4月～翌年3月・・・新学科設置構想検討のためのコンサルタント契約 ・1-⑨　令和7年2月・・・・・・・・・・・令和6年度機能強化会議へ出席（名称変更：人材育成機能強化会議）	・1-⑤　令和6年6月～11月・・・・・・新学科設置記念公開講座の開催（計6回：6月、7月、9月、10月2回、11月） ・1-⑥　令和6年12月・・・・・・・・・・新学科設置構想検討のための需要調査（高校1年生対象） ・1-⑦　令和6年12月・・・・・・・・・・新学科設置構想検討のための需要調査（高校進路指導担当教員対象） ・1-⑧　令和6年4月～翌年3月・・・新学科設置構想検討のためのコンサルタント契約 ・1-⑨　令和7年2月・・・・・・・・・・・令和6年度機能強化会議へ出席（名称変更：人材育成機能強化会議）（教員1名、職員2名） ■令和6年12月　需要調査結果に基づき、以下のとおり検討中 ①地域・医療・食品・健康・データサイエンス学科（仮称）について、「学科新設」による大学全体の収容定員増加 による認可申請から、大学全体の収容定員を変更せずに、既存学科の収容定員変更による届出に変更を検討 ②新設学科を健康栄養学部から環境園芸学部での設置で変更して検討中 ③新設学科の入学定員を50名から90名に変更して検討中 ④上記①③に伴い、食品開発科学科（入学定員40名）の募集停止し、新学科へ移行を検討中 ⑤上記①③に伴い、環境園芸学科の定員減（110名から80名）し、減少分を新学科へ移行を検討中 ⑥上記①③に伴い、子ども教育学科の定員減（80名から60名）し、減少分を新学科へ移行を検討中 ⑦上記①③に伴い、新設学科の名称変更を検討中 ⑧上記①③に伴い、学位分野を「農学」で検討中	令和6年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	・1-⑩　令和7年6月・・・・・・・・・・・・新学科設置のための事前相談資料の提出（文部科学省） ・1-⑪　令和7年7月・・・・・・・・・・・新学科設置に向けた申請用調査の検討およびリーフレット作成 ・1-⑫　令和7年7月・・・・・・・・・・・新学科設置に関する広報活動開始 ・1-⑬　令和7年8月・・・・・・・・・・・新学科設置に向けた施設設備の検討開始 ・1-⑭　令和7年8月～12月・・・・・・新学科設置着念公開講座の開催 ・1-⑮　令和8年2月・・・・・・・・・・・令和7年度人材育成機能強化会議へ出席 ■『計画変更承認申請』 （１）事業計画名：~~南九州大学　情報系学科新設計画~~　南九州大学　農学関連学科新設計画 （２）設置等組織名称：~~健康栄養学部　地域・医療・食品・健康・データサイエンス学科（仮称）~~　環境園芸学部地域創成学科（仮称） （３）開設年度：令和9年4月設置予定 （４）設置場所：南九州大学宮崎キャンパス （５）設置等組織の学位：~~家政関係、工学関係~~　農学関係 （６）設置等組織の入学定員：~~50名~~　60名 承認日：令和8年４月22日付支学機助11号	・1-⑩令和７年10月・・・・・・・・新学科設置のための事前相談資料の提出（設置学科の内容変更に伴い、事前相談を6月から10月に変更） ■事前相談提出概要 （１）学科名称：環境園芸学部地域創成学科（仮称） （２）開設年度：令和9年4月設置予定 （３）設置場所：南九州大学宮崎キャンパス （４）取得学位：学士（農学） （５）入学定員：60名（収容定員240名） （６）既設学科の再編：健康栄養学部食品開発科学科を令和9年度募集停止 環境園芸学部環境園芸学科の入学定員110名を90名に変更する（△20名） ■事前相談結果通知にて、「届出」による設置可が能となる（附帯事項は無し）（令和７年12月） ・1-⑪　令和7年8月・・・・・・・・・・新学科設置に向けた申請用調査の検討およびリーフレット作成 ・1-⑫　令和7年8月・・・・・・・・・・新学科設置に関する広報活動開始 ・1-⑬　令和7年8月・・・・・・・・・・新学科設置に向けた施設設備の検討開始 ・1-⑭　令和7年8月・・・・・・・・・・新学科設置着念公開講座の開催 ・1-⑮　令和8年2月・・・・・・・・・・令和7年度人材育成機能強化会議へ出席（教員2名、職員1名）事例発表校として登壇	令和7年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	・1-⑯　令和8年5月・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・文部科学省へ新学科設置届出の提出 ・2-①　令和8年6月～令和9年3月・・・・・・・・・・・・新学科設置に関する施設設備工事の契約および工事着手・完了 ・2-②　令和8年6月～令和9年3月・・・・・・・・・・・・新学科設置に関する実験機器等の整備		令和8年度自己評価　リストから選択してください。
令和9年度	R9年4月に新規学科の開設をおこない、完成年度は、R12年度である。 完成年度を迎えるまでは、広報活動ならびに学習成果の質の保証等の分析をおこなう、専任の職員を学科に配置し、データの分析ならびにPDCAサイクルを回す体制を整える。 　1期生が卒業するR13年3月に向けて、農学系学生の就職先を開拓するために、県内および九州管内の就職先開拓をR10年度から積極的におこなう。その際、R6年度設置予定となっている、宮崎大学を中心とした連携推進法人との整合性をはかりつつ、就職関連部会を通じた宮崎県内の商工会議所等業界団体および県内自治体との協議やインターンシップの強化をおこなう。 3-①　新学科運営室の設置　・・・　準備室は令和13年3月までの4年間設置 3-②　新学科専任職員の配置（新学科設置に伴う学科事務）・・・雇用期間：令和13年3月までの4年間 3-③　準備室による履行状況の確認 3-④　新学科広報活動（コンサルタント契約） 3-⑤　就職先企業開拓（企業訪問）		令和9年度自己評価　リストから選択してください。
令和10年度	3-③　準備室による設置届出内容の履行状況の確認および文部科学省への報告 3-④　新学科広報活動（コンサルタント契約） 3-⑤　就職先企業開拓（企業訪問）		令和10年度自己評価　リストから選択してください。
令和11年度	3-③　準備室による設置届出内容の履行状況の確認および文部科学省への報告 3-④　新学科広報活動（コンサルタント契約） 3-⑤　就職先企業開拓（企業訪問）		令和11年度自己評価　リストから選択してください。
令和12年度	3-③　準備室による設置届出内容の履行状況の確認および文部科学省への報告 3-④　新学科広報活動（コンサルタント契約） 3-⑤　就職先企業開拓（企業訪問）		令和12年度自己評価　リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和8年4月　環境園芸学部地域創成学科（仮称）設置届出予定（入学定員60人、農学関係）		
定員減又は 学部等の廃止	・令和6年4月　南九州大学短期大学部国際教学科　令和8年度募集停止の報告（入学定員100人　教養関係） ・令和6年4月　南九州大学短期大学部国際教養学科　60人減員に係る届出（入学定員40人　教養関係）	・　令和6年4月　南九州大学短期大学部国際教学科　令和8年度募集停止の報告（入学定員100人　教養関係） ・　令和6年4月　南九州大学短期大学部国際教養学科　60人減員に係る届出（入学定員40人　教養関係）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	南九州大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑭の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

□ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
すでに実行段階に入っているSPARCプログラムを拡張し、SPARC参加大学のみならず、高等教育コンソーシアム宮崎参加大学とも連携した科目の整備をおこなう。	新設学科の基礎となる学部等である環境園芸学科ならびに食品開発科学科において、令和7年度より宮崎大学等との連携開設科目（宮崎版SPARC未来共創教育プログラム）を当初予定どおりに開講した。新設学科においても、連携開設科目を開設するため科目を整備を行っている。 「一般社団法人高等教育コンソーシアム宮崎」が、令和7年3月に大学等連携推進法人に認定されたことにより、宮崎県内の高等教育機関全て大学間での連携開設科目の設定が可能となった。	令和7年度から、宮崎版SPARC未来共創教育プログラムの４大学での連携開設科目の開講となったが、大学所在地間の距離があるため、遠隔授業（オンライン・オンデマンド）が中心となっている。受講対象者は１年生のため、まずは学内の科目においてオンライン・オンデマンドの受講方法を学ぶことを目的とした授業を実施した。それでも、受講方法に慣れるの時間かかり、自身での学習管理ができず、教材視聴や課題提出が追いつかない学生も見られた。その対応として、各授業ごとに週1回教室を開放し、教職員が待機することで、受講に不安のある学生の遠隔授業の技術的なサポート、定期的な受講の促進を行った。さらに、オンデマンド授業の受講の進行については担当教員を軸に進行が遅れがちな学生へのフォローを実施した。 連携推進法人に認定されたことにより、連携開設科目活用の可能性は広がったが、多大学間で運用するためには、授業方法、時間割、学年暦の調整が必要となる。今後はコンソーシアム宮崎において運用方法についての検討を行っていく。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

□ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
□ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
□ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
地方公務員、教員、医療関係従事者、食品関連企業など、南九州エリアで中核的な小規模事業体の職員、従業員をターゲットとしたリカレント教育の構築可能性もフェーズ1において検討する。	県内の食品関連企業を持つ農業団体との協議を行い、リカレント教育プログラムについて検討している。ミニマムではあるが令和8年度より農業団体の職員研修を実施よる計画である。	リカレント教育において、企業・団体での課題が多様であり、本学の限られた教育資源とのマッチングに課題がある。新学科の開設により教員の専門性と教育施設の拡充により、従前に増して企業との連携が図れるものと考える。

大学名	南九州大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	環境園芸学部　地域創成学科（仮称）

				年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
				改組状況	選定			届出															
大区分	小区分	項目	単位																				
	事業計画に定める定員	入学定員	人		-	-	-	-															
		編入学定員	人		-	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人		-	-	-	-															
		入学者数	人		-	-	-	-															
		女子学生数	人		-	-	-	-															
		社会人学生数	人		-	-	-	-															
		留学生数	人		-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人		-	-	-	-															
		入学者数	人		-	-	-	-															
		女子学生数	人		-	-	-	-															
		社会人学生数	人		-	-	-	-															
		留学生数	人		-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人		-	-	-	-															
		入学者数(B)	人		-	-	-	-															
		女子学生数	人		-	-	-	-															
		社会人学生数	人		-	-	-	-															
		留学生数	人		-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍		-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人		-	-	-	-															
		編入学定員	人		-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人		-	-	-	-															
		編入学者数	人		-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍		-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人		-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人		-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位		-	-	-	-															

大学名	南九州大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	130	110	110	110															
		入学者数	人	83	85	75	79															
		女子学生数	人	25	25	16	19															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	2	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	0															
		入学者数	人	-	-	-	0															
		女子学生数	人	-	-	-	0															
		社会人学生数	人	-	-	-	0															
		留学生数	人	-	-	-	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	130	110	110	110															
		入学者数(B)	人	83	85	75	79															
		女子学生数	人	25	25	16	19															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	2	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.64	0.77	0.68	0.72															
	収容定員等	収容定員(C)	人	520	500	480	460															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	361	340	344	320															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.69	0.68	0.72	0.70															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	96	64	94																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	26	25	25	25															
		授業科目の単位数	単位	128	134	134	125															

大学名	南九州大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	310	290	290	290															
		入学者数	人	228	198	196	231															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	310	290	290	290															
		入学者数(B)	人	228	198	196	231															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.74	0.68	0.68	0.80															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1240	1220	1200	1180															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	964	892	878	837															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.78	0.73	0.73	0.71															

４.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況		申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定				開設			完成年度						
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	21,942	19,280	26,227	19,804	30,797	30,525	30,088	25,687											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金	千円	22,658
本事業による助成金の額(F)	千円	570,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	36,908

特記事項